



24時間キャンペーン実施報告

2023年11月19日(日) 16時から11月25日(土) 21時まで、1週間173時間連続で子どもの声を聴く24時間キャンペーンを実施しました。

このキャンペーンは、中四国エリアでチャイルドラインを実施している団体等が連携して電話開設を行ったものです。

チャイルドラインこうちは、キャンペーン期間中のうち3日間計9時間の開設協力を行いました。また、キャンペーン実施にあたって、チャイルドラインカードを学校を通じて子どもたちに配布しています。

キャンペーン期間中、約1,500件の電話を受信しています(うち高知からは13件)。



受け手支え手交流会開催

チャイルドラインこうちの受け手支え手交流会を、11月19日(日)高知県立ふくし交流プラザ研修室で開催しました。16名の活動会員の参加に恵まれました。

チャイルドラインの活動は、こどもの電話を聞く「受け手」と、その受け手を支える「支え手」が一つになって活動しています。受け手はこどもの気持ちに寄り添って話を聞き、支え手はその受け手の気持ちに寄り添って活動をサポートしています。

日頃の開設では、こどもの電話対応や事務作業で手いっぱいになりがちで、会員同士でゆっくり話し合う機会がなかなか取れないなか、交流会はありがたい時間でした。お久しぶりの方にも会えて笑顔があふれました。

車座になりお互いの顔を見ながら、自己紹介のあと意見交換をしました。この交流会や今後の活動に期待することをお聞きすると、「皆さんの考えややり方を聞きたい」「開設されない時期もあったので顔を見に来た」「研修があまり開催されないので期待している」「相談できる場が欲しい」「高知市以外の活動の可能性を知りたい」「しばらく参加できなかったが、これを復帰のきっかけにしたい」「新しい開設事務所の展望を聞きたい」など様々な意見が活発に寄せられました。

その他にも、これまで活動に参加してきた感想として、支え手の落ち着いた雰囲気を作る大切や、守秘義務の観点から外部に情報を伝えることが出来ないことが広報活動にジレンマを感じるなど貴重な意見が交わされました。

後半、研修部による電話の事例検討を含めた受け手研修の要素も交えて進行しました。より良いチャイルドライン活動を共に目指す受け手支え手の交流の大切さをあらためて実感しました。休憩時間用にも心温まりました。あっという間の2時間でした。

今回参加したかったけれど都合が合わなかった活動会員の声もあり、また次回定期的開催できればと思います。



ホームページができました!

<https://childlinekochi.org/>



これまで、チャイルドラインこうちのインターネット上の独自発信チャンネルは、Face bookのみでしたが、念願のホームページが完成しました。



ご寄付のお礼 (2023年8月~12月)

ご寄付をいただいた皆様をご紹介します。皆様のご理解とご支援に感謝申し上げます。

- <企業・団体の皆様> ○医療法人めばえ 10,000円 ○さたけ小児科 10,000円 ○谷岡内科小児科 10,000円
○田村子どもクリニック 10,000円 ○中島工務店 30,000円 ○chimney 3,000円 ○介良小児科アレルギー科 10,000円
○坂井小児科内科 5,000円 ○医療法人博仁会(尾木医院) 10,000円
○ライオンズクラブときみぎ支部 10,000円
- <個人> 前田賢人・岡本英・増本徳・今村潤・森澤豊・星野勝英
澤田由紀子・吉川清志・浜田義文・藤枝幹也・森田なつ子 (敬称略)

◆会員数 (2023年12月1日現在)

活動会員数 51人
支援会員数 30人